令和６年度　　瀬田工業高等学校　学校評価

本年度の重点目標

・わかる授業の工夫や改善と学習内容の点検・整備に努める。
・各種資格の取得に向け、生徒への啓発と学習指導を充実する。
・本校に愛着をもって生活できる生徒を育成するため、生徒指導、人権教育、特別支援教育、教育相談体制を充実する。
・保護者や地域社会への情報発信に努めるとともに、さらなる理解と協力が得られる仕組みの確立に努める。
・地域の人々に信頼され、地域の一員としての役割を果たす人材育成に努める。

領　域	重　点　評　価　項　目	中間評価(10月)	総合評価（３月）	
		自己評価	自己評価	学校関係者評価
1　学校経営	工業教育の理想を追求し、新しい時代に即応した人材の育成を図っている。			
	施設・設備の更新、維持管理、点検整備を図り、学習環境の充実に努めている。			
2　学習指導	基礎・基本を重視した教科指導にあたっている。			
	各種の資格が取得できるように指導を行っている。			
3　生徒指導	ルールやマナーの指導が充実しており、問題行動の発生を未然に防止している。			
	生徒会行事は充実している。			
	常にいじめの未然防止を図り、早期発見・早期対応に努めている。			
4　進路指導	進学や就職に関する情報提供を十分に行っている。			
	進学や就職に関する指導を適切に行っている。			
5　特別活動等	部活動に積極的に参加し、充実した活動を行っている。			
	校外学習や修学旅行等は、生徒にとって意義ある内容としている。			
6　学校図書館	委員会活動や広報誌発行等を通じて図書館の利用を促進するように努めている。			
	生徒･職員のニーズに応えられるよう図書の充実を目指している。			
7　保健・安全指導	病気、けが、事故等への対応を適切に行っている。			
	充実した教育相談を行っている。			
8　人権教育	ＬＨＲ等を利用し人権意識を高める指導を十分に行っている。			
9　環境教育	省エネルギーへの取組みとして節電等の指導を行っている。			
	ゴミの分別について啓発し、実践している。			
10　事務・管理	施設・設備を充実し、整備している。			
	来訪者や電話に対して適切に対応している。			
11　その他 学校の取組み	地域の企業や高等教育機関等と連携して、工業高校としての知識・技術を伸展する教育を進めている。			
	学校運営協議会を設置し、地域の幼・保・小・中学校と連携を進め、生徒の地域貢献への意識を高めている。			

（注）・評価表の見方：　６月　学校の教育目標に基づいた重点評価項目の公表
１０月　中間評価（自己評価）の公表（８月までの教育活動に対する中間評価）ＡＢＣＤの４段階評価で示す。
３月　総合評価（自己評価・学校関係者評価）の公表（年間の教育活動に対する総合評価）ＡＢＣＤの４段階で示す。
・自己評価は教職員による評価。学校関係者評価は、保護者・学校評議員等より構成された評価委員会等が自己評価の結果について評価することを基本として行う評価。
・ＡＢＣＤの基準については、評価項目の内容が、十分に達成できた場合（達成度80%以上）はＡ、おおむね達成できた場合（達成度60%以上80%まで）はＢ、
あまり達成できていない場合（達成度40%以上60%まで）はＣ、達成できていない場合（達成度40%未満）はＤとする。

学校のＵＲＬ：　http://www.setatech-h.shiga-ec.ed.jp/